

相馬福島道路(霊山道路)

東京理科大学理工学部による現場見学会のお知らせ

「相馬福島道路 霊山道路」は、平成29年度の開通に向けて工事を進めています。  
この度、東京理科大学理工学部の学生の皆様によるトンネルの現場見学会を開催します。

相馬福島道路は、常磐自動車道と東北縦貫自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路（無料）であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクト（復興支援道路）として位置づけられています。

また、相馬福島道路の開通により、平時においては地域の暮らしや産業を支えるとともに、災害時には緊急輸送道路としての信頼性向上が期待されます。【別紙2参照】

記

- 日時：平成27年9月9日（水）14:00～15:45
- 見学場所：七ツ窪トンネル【別紙-1参照】
- 参加者：東京理科大学理工学部土木工学科 コンクリート工学研究室 約20名
- その他：取材を希望される方は、14:00までに集合場所にお越し下さい。  
※雨天でも開催します。

【発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ、東北専門記者会】

問い合わせ先

《事業に関すること》

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所 電話 024-546-4331(代)

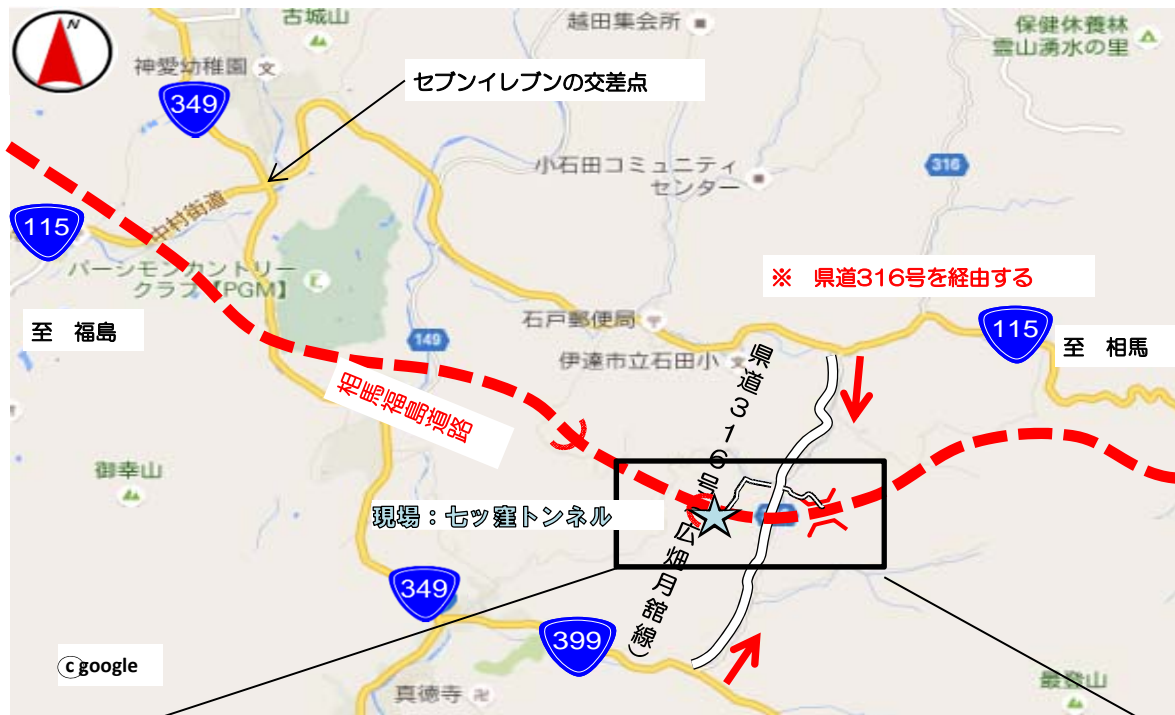
副 所 長 あか さか ひろし  
赤 坂 浩 (内線205)

工務第二課長 おやまだ かつらお  
小山田 桂夫(内線411)

《見学会に関すること》

国道115号霊山道路トンネル工事 飛島建設(株)霊山道路トンネル作業所 電話 024-563-1967

(七ツ窪トンネル) 現場代理人 てら しま よし ひろ  
寺 島 佳 宏



# 【復興支援道路】 一般国道115号 相馬福島道路の概要

別紙2

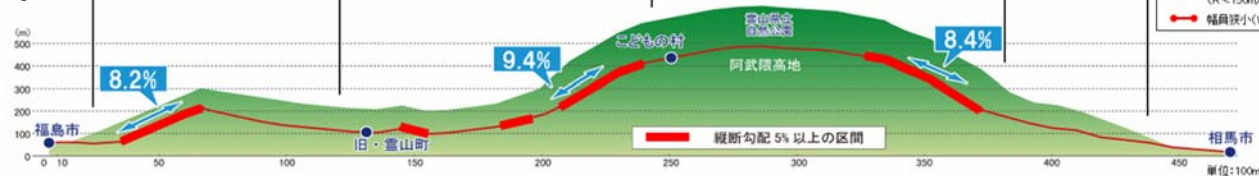
相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路(無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。

## 【平面図】



## 【縦断面図】

国道115号



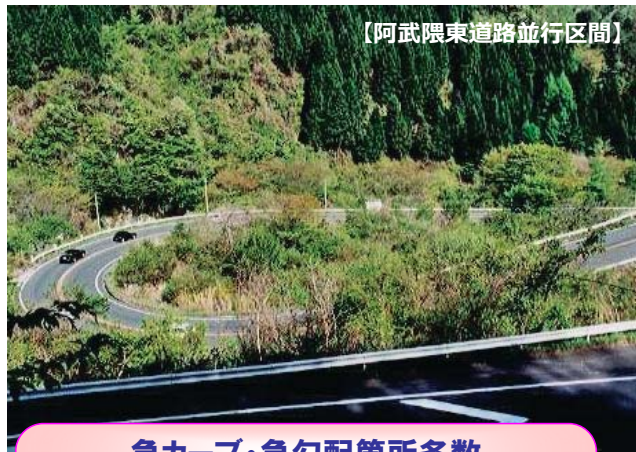
## 国道115号 相馬～福島間の現状の課題



大型車同士のすれ違いが困難



緊急車両の走行に支障

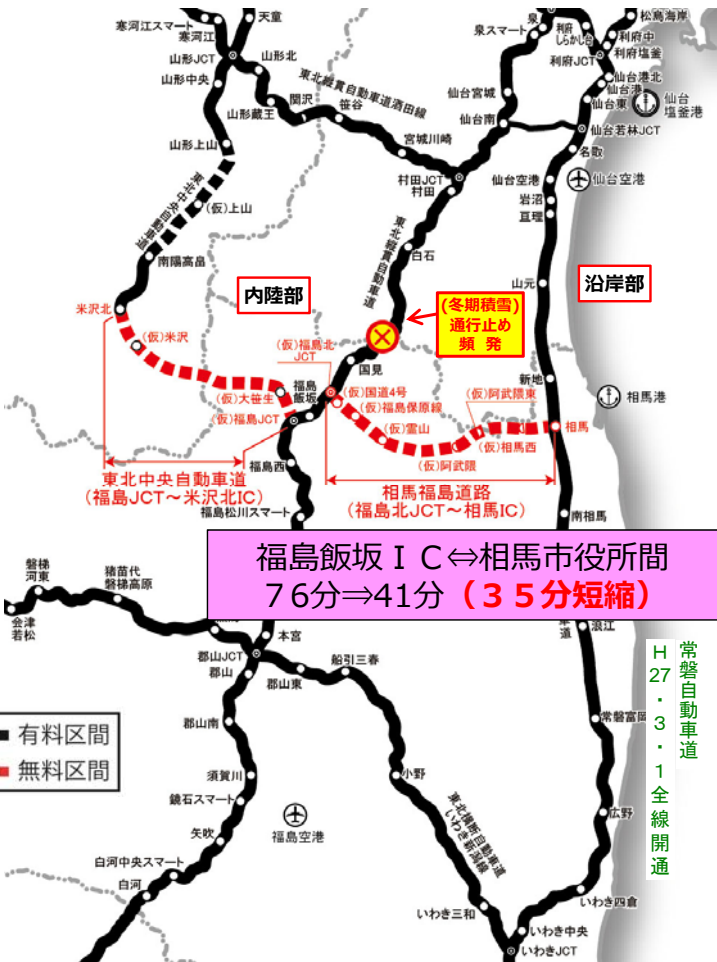


急カーブ・急勾配箇所多数



沿線住民の安全な生活に支障

# メリット① 通勤時間が大幅に短縮 福島⇔相馬間が身近に！



はしご状の高速道路ネットワークを形成し、効率的な交通経路の選択が可能に

現道115号を利用した原材料輸送における課題



相双地方の企業は、内陸・関東方面へ輸送する時、冬期道路状況等により仙台経由で輸送している ⇒ 大幅な迂回損失が発生

冬期迂回ルート  
迂回率 1.74  
大型車1台当たり約1,700円の迂回損失

資料：H22道路交通センサスピーク時旅行速度時間価値原単位はH20年価格

# メリット② 悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保

▼相馬市～福島市間の緊急輸送道路は国道115号のみ



▼落石等により寸断された国道 国道115号相馬市山上地区 (H18年6月)



▼豪雪により寸断された国道 (伊達市霊山町石田地内(H26年2月)全止め3日間)

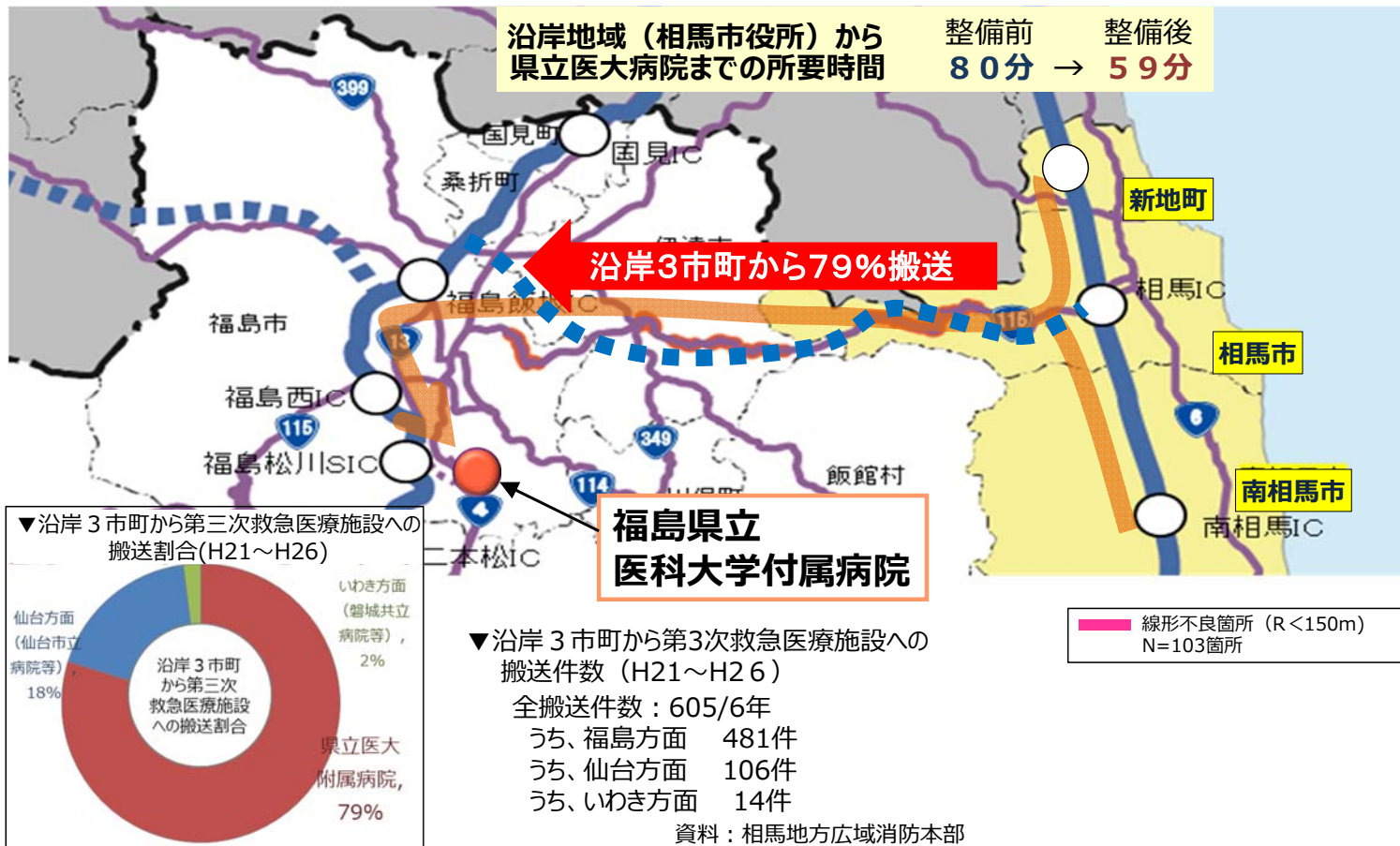


国道115号は、災害等による通行止めが頻発 (通行止15回/16年)

※H11～H26

## メリット③ 救急医療の支援

急カーブや急勾配の回避により患者への負担が軽減され、安心・安全な救急医療を支援



## メリット④ 地域経済を支援

相馬港を活用した輸送効率化を図り、企業活動の活性化を支援

### 《輸送コスト削減の事例》

鑄造用並びに製鋼用鉄源を扱う二本松市のI社は、銑鉄の輸送にあたって相馬港を活用し、輸送費の安い海上輸送をメインの輸送方法に切り替えることで、大幅なコストダウンを実現

2,000円/t  
のコスト削減



輸送方法の切り替えイメージ



before

after

